

令和3年度事務事業評価における評価指標等に表れない取り組み事例について

○ 本資料は、資料1－4には記載のない、事務事業評価対象外の事例等について、補足させていただきます。

取り組み方針	評価	取り組み事例
④ 地域住民や地域活動団体等との連携と協働の仕組みづくり	2.0	<p>≪CSWが行っている取り組み事例≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども食堂の立ち上げ支援 ・ 町会活動の運営支援による住民活動の活性化促進（焼きも大会 など） ・ 障害児制作キーホルダーの寄付を通じた、地域への療育家庭についての理解・周知 ・ 障害児の作品展開催を通じた、障害理解促進および障害児との交流支援
⑤ 福祉教育の推進	2.0	<ul style="list-style-type: none"> ・ 区公式 YouTube「としまななまるチャンネル」による配信（障害者サポート講座、不安やストレスの影響とこころのケア など） ・ 認知症サポーター養成講座の実施 ・ 地域福祉サポーター養成講座の実施 <p>≪CSWが行っている取り組み事例≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ フードバンク事業で使用するバックを地域活動サロンで作成することによる、サロン利用者と生活困窮者等への相互理解、周知 ・ コロナ禍により、実習中止となった学生にオンライン講義を実施 ・ 高校生の学習支援（高齢者の介護予防に関する研究）
② 災害時要援護者等への支援体制の整備	2.0	<p>≪CSWが行っている取り組み事例≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 町会が実施する災害時の支援体制づくりに関する会議・勉強会への参加支援 ・ 防災に関するアンケートを共同で作成
⑤ まちのバリアフリー化等の推進	2.0	<ul style="list-style-type: none"> ・ 区立公園におけるインクルーシブ遊具^{※1}の設置（南長崎はらっぱ公園、としまキッズパーク など） ・ 路上落下物・障害物除去による通行空間の確保

※1 インクルーシブ遊具…体に障がいがある子も、ない子も一緒になって遊ぶことができる遊具のこと

取り組み方針	評価	取り組み事例
⑳ 情報アクセシビリティ	1.7	<p>≪行政サービスのデジタル化の主な取り組み事例≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 区民サービスに関すること <ul style="list-style-type: none"> ・「リアルタイム窓口情報」Web サイト ・テレビ電話による多言語通訳サービス ・オンライン相談(区民相談コーナー) ● 高齢者福祉・障害者福祉・介護サービスに関すること <ul style="list-style-type: none"> ・「UDトーク※²」、「comuoon(コミュニケーション)※³」の設置 ・視覚障害者向け移動支援アプリ「shikAI」 ● 保育サービス・子育て支援・子ども若者支援に関すること <ul style="list-style-type: none"> ・としま もっと見る知る ～結婚から出産・子育て応援アプリ～ ・育児を応援する行政サービスガイド「ママフレ」 ● 公園・都市計画に関すること <ul style="list-style-type: none"> ・公園アプリ「PARKFUL」 ・豊島区地図情報システム ● まちづくり・地域活性化に関すること <ul style="list-style-type: none"> ・地域 SNS「ピアッツァ」での情報発信 ● 広報に関すること <ul style="list-style-type: none"> ・ニュースアプリ「SmartNews(スマートニュース)」での公式情報の発信 ・広報としまデジタルブック ・ソーシャルメディア 豊島区公式アカウント一覧 ・「Yahoo くらし」での区政情報発信

※2 UDトーク…音声認識によって、話し言葉が文字に変換される、会話が見えるアプリのこと

※3 comuoon(コミュニケーション)…マイクを使って語りかけると、声が聞き取りやすくなるスピーカーのこと